

市議会

3月定例会

平成2年度当初予算案など

58議案を可決

市議会三月定例会が、三月五日から二十二日まで開かれました。今定例会には平成元年度一般会計等補正予算案、平成2年度の一般・特別・企業会計予算案や土曜（毎月第二と第四）閉庁を盛り込んだ、「大館市の休日」を定める条例案など五十八議案が提出され、慎重な審議の結果、全議案が原案通り可決されました。

2年度一般会計予算

165億9千万円

一般会計、特別会計、企業会計の平成元年度補正予算案及び平成2年度の当初の各予算案



が可決されました。2年度の当初予算については、三面・四面をご覧ください。

平成元年度

一般会計補正予算

平成元年度の一般会計予算は、今定例会で歳入・歳出それぞれに十三億四千九百五十八万円が追加補正され、最終予算総額は百八十九億八千七百二十七万二千円となりました。

歳入の追加で主なものは、地方交付税六億九千万円、市税四億四千万円（うち市民税三億三千万円）です。歳出の追加で主なものは、総務費十一億八千万円、衛生費八千七百万円、公営企業助成費七千八百万円です。

今定例会の

焦点

○土曜閉庁について

「大館市の休日」を定める条例は、次に掲げる日は市の機関の執務を原則として行わないこととしたものです。

- (1)日曜日並びに毎月の第二土曜日及び第四土曜日
- (2)国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3)十二月二十九日から翌年一月三日までの日

これにより、毎月第二、第四土曜日は、市役所が閉庁となります。ただし、具体的な実施時期等については、今後検討のうえ決定されます。

○国連訪問視察交流について

市民二十人、市長・随行職員二人、議会代表二人の計二十五人が、国連本部（ニューヨーク）ほかを訪問し、非核・平和などを主体に交流を深めようという

ものです。

これにかかる費用の市民への一部助成と市、議会の関係予算案が可決されました。

○労働会館改築について

労働会館の老朽化に伴う改築のため、二億一千万円（県補助三千万円、労働団体負担金二千万円、市費一億六千万円）が予算計上され、可決されました。

教育委員

監査委員決まる

平成二年三月二十三日で任期満了となった教育委員の後任人事案件、並びに議員選出の監査委員の選任人事案件が今定例会に提出されました。いずれも議会の同意が得られ、次の両氏に決まりました。

教育委員 □ 石田 宏氏

(48歳・御成町4丁目)

監査委員 □

湯瀬 勝衛氏

(65歳・桜町南)

市長メモ

グルメ時代の農業



No.29

農耕期を迎えました。何となく気が落ち着かない時期です。コメの輸入自由化問題をはじめ、農業はこの二十年間徹底的に揺さぶられ続けてきました。なぜなのでしょう。私の独断と偏見では「小規模経営にもかかわらず大量生産・大量流通を目指した、現実・時代の錯誤によるもの」ではないかと思えます。個性化時代、グルメの時代と言われる今こそ、時流に乗った「食」を考え、食素材重視の農業へと脱皮しなければなりません。家族ぐるみで外食しても、選ぶメニューはそれぞれ別、それは当然と分かっているながら生産と連動させようとしなかったことに、対応の誤りがあったと深く反省させられます。

しかし、今からでも遅くはありません。食素材ほど新鮮さ、質の良さ、安全性を求められるものはなく、それは取りも直さず国産品の有利性を示すと言えます。個性に富んだ農業が今、問われ、求められているのです。

白根 慎治